

FOMA 通信ルーターセット C-KTY22-F

概要

FOMA パケット通信を利用して遠隔リモート監視(テレメータ通信)が可能になります。通信使用時のみ電源を ON することができるので、商用電源のない場所での長期使用も可能です。C-CR1000,C-CR800/850 に FOMA 通信ルーターセットを接続して、インターネット経由観測局に接続します。特別なソフトは必要なく、インターネット環境があれば観測局に接続可能です。

通信料金：FOMA パケット通信料(128 バイト/1 パケットです)

- ・最適機種判定はリモートデータ通信方法選択ガイドで
- ・電源条件・環境条件の厳しいところは CIPL 通信サービス KDDI CDMA 通信モジュールを推奨



FOMA 用通信モジュールとアンテナ
C-KTY22-F

特徴

- ・FOMA(docomo)の圏内であることが条件です。
- ・FOMA データ通信カードを使用します
- ・データ定額プランを使用可能なので通信料が経済的。
- ・RS-232C ポートでロガーと直接通信可能(固定 IP または DDNS サービス利用)
- ・LAN ポートにカメラなどを接続して、計測と同時にカメラ監視も可能

主な仕様 ※仕様・デザイン等は予告なく変更することがあります。

型 式	C-KTY-22F
対応サービス	LTE FOMA パケット通信
通信インターフェース	LAN:100BASE-T,10BASE-T x 4 ポート RS-232C x 1 接点入力 x2 接点出力 x2
アンテナ	外部アンテナを接続
RS-232C	全二重・調歩同期方式 1200-921600bps
通信プロトコル	PPP,IPCP,IP,TCMP,TCP,UDP,TELNET SYSLOG,ARP,GRE,SNTP,DHCP SMTP
電源コントロール	外部機器またはタイマー等より 電源コントロール可能
通信速度(最大)	上り：5.7Mbps 下り：7.2Mbps ベストエフォート
電 源	DC5~24V
消費電流	待受時：約 0.72W(60mA@12V) 通信時：約 4.8W(400mA@12V)
動作環境	-20℃~60℃ 10-90%RH
寸法・重量	H25×D78×W146mm 約 420g(本体のみ)

概要

本装置はデータロガー(C-CR1000/800/3000/200X)とコンピュータとの間で 2.4GHz 無線周波数を使用してワイヤレスデータ通信を行います。単に RS-232C を無線に置き換える 1:1 の通信ができるだけでなく、AT コマンドを使用して多点の無線ネットワークが構築可能です。見通せることが条件ですが、見通せないところでは中継局を経由して通信することも可能です。

無線 LAN に比較すると、RS-232C を使用した低消費電力、低価格のネットワークを構築することができます。

2.4GHz 無線通信モジュール C-TB1001

仕様

型 式	C-TB1001
通 信 距 離	室内 最大 60m 屋外 最大 750m (ダイポールアンテナ同士、見通し)
周 波 数 帯	2.4GHz
送 信 出 力	10mW
受 信 感 度	-102dBm
通 信 規 格	IEEE 802.15.4
インターフェース	RS-232C
通 信 速 度	1200~250kbps
モジュール制御	AT モード
寸 法	140mm(L)×70mm(W)×20mm(D)
動 作 温 度	-40℃~+95℃(通信モジュール)
電 源 電 圧	DC12V
消 費 電 力	平均 60mA@DC12V
ア ン テ ナ 長	85mm
LoggerNet の設定	機器に説明付属



上側が PC 側(AC アダプター付属)
下側が子局のロガー接続用(DC12V 供給)